

# 56期（2024年9月期） 第3四半期 決算短信補足資料



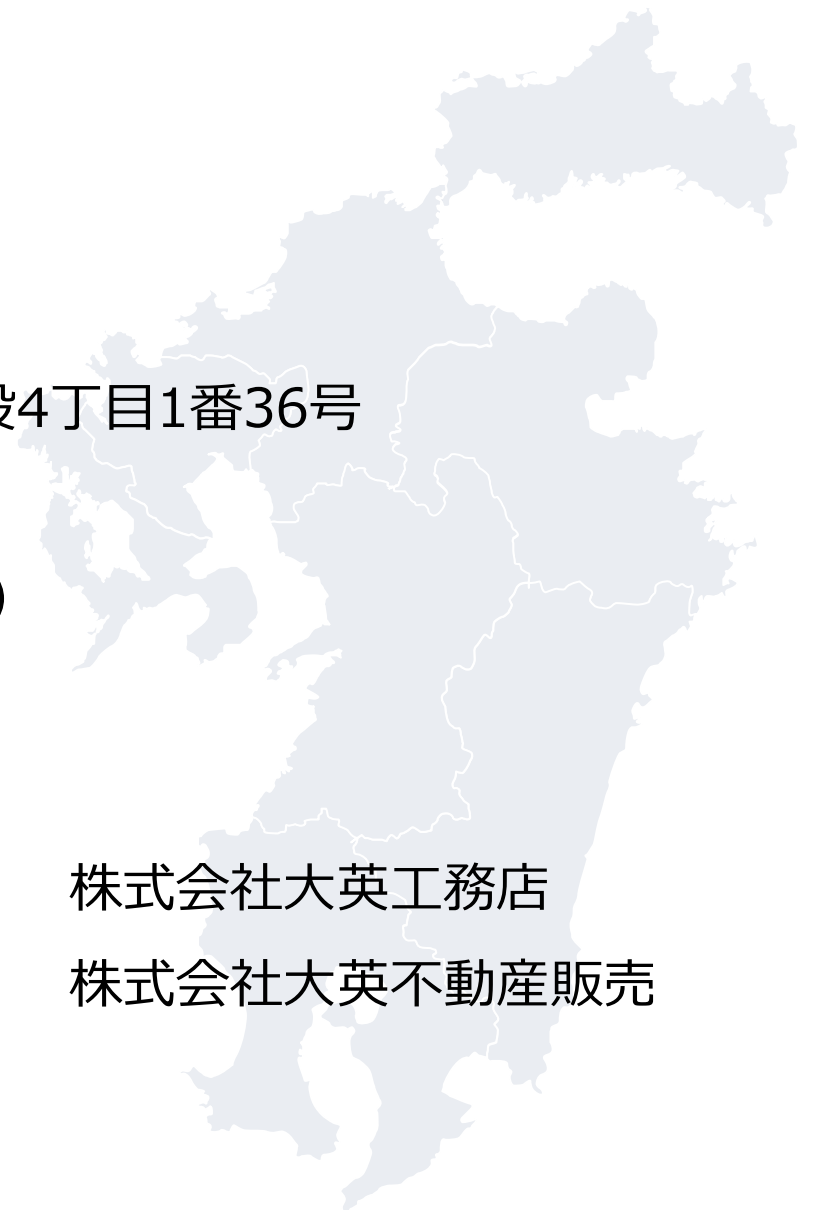
大英産業株式会社

(福証本則：2974)

|   |                               |       |
|---|-------------------------------|-------|
| 1 | 当社の概要                         | P. 3  |
| 2 | 56期（2024年9月期）第3四半期決算報告        | P. 7  |
| 3 | 第3四半期 事業別業績報告                 | P. 13 |
| 4 | 中期経営計画の進捗と今後の取組み              | P. 17 |
| 5 | 第3四半期TOPICS（2023年10月～2024年6月） | P. 22 |
| 6 | 株式の状況及び株主様への利益還元について          | P. 27 |

# 1. 当社の概要

|       |                               |                          |
|-------|-------------------------------|--------------------------|
| 商号    | 大英産業株式会社                      |                          |
| 会社設立  | 1968年11月28日                   |                          |
| 所在地   | 福岡県北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号       |                          |
| 代表者   | 代表取締役社長 一ノ瀬 謙二                |                          |
| 資本金   | 3億3,089万円（令和6年6月末）            |                          |
| 直近売上高 | 357億円                         |                          |
| 従業員数  | 410名（令和5年10月16日現在）            |                          |
| 子会社   | 大英リビングサポート株式会社<br>株式会社大英エステート | 株式会社大英工務店<br>株式会社大英不動産販売 |



## ② 事業展開エリアと事業内容

### 分譲マンション事業

九州・山口全域にて展開※  
3～4LDKを中心とするサンパーク、  
1～3LDKを中心とするサンレリウスを展開。  
マンション管理事業を、子会社である  
大英リビングサポートにて行っている。

※沖縄県を除く



ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス

### 不動産流通事業

福岡県・熊本県を中心に  
中古マンション、中古一戸建ての  
買取再販事業を行う。  
中古住宅を現代の住まい方、ニーズに  
合わせ、リフォームを施し販売を行う。



### 分譲住宅事業

福岡県全域、熊本県、大分県北部、  
佐賀県、山口県にて展開  
分譲住宅を中心とし、コンセプトを  
変えた複数のシリーズを展開。  
分譲住宅の販売と併せ、新築住宅の  
オプション工事やリフォーム事業、  
土地分譲を行う。



ARCHI DAYS

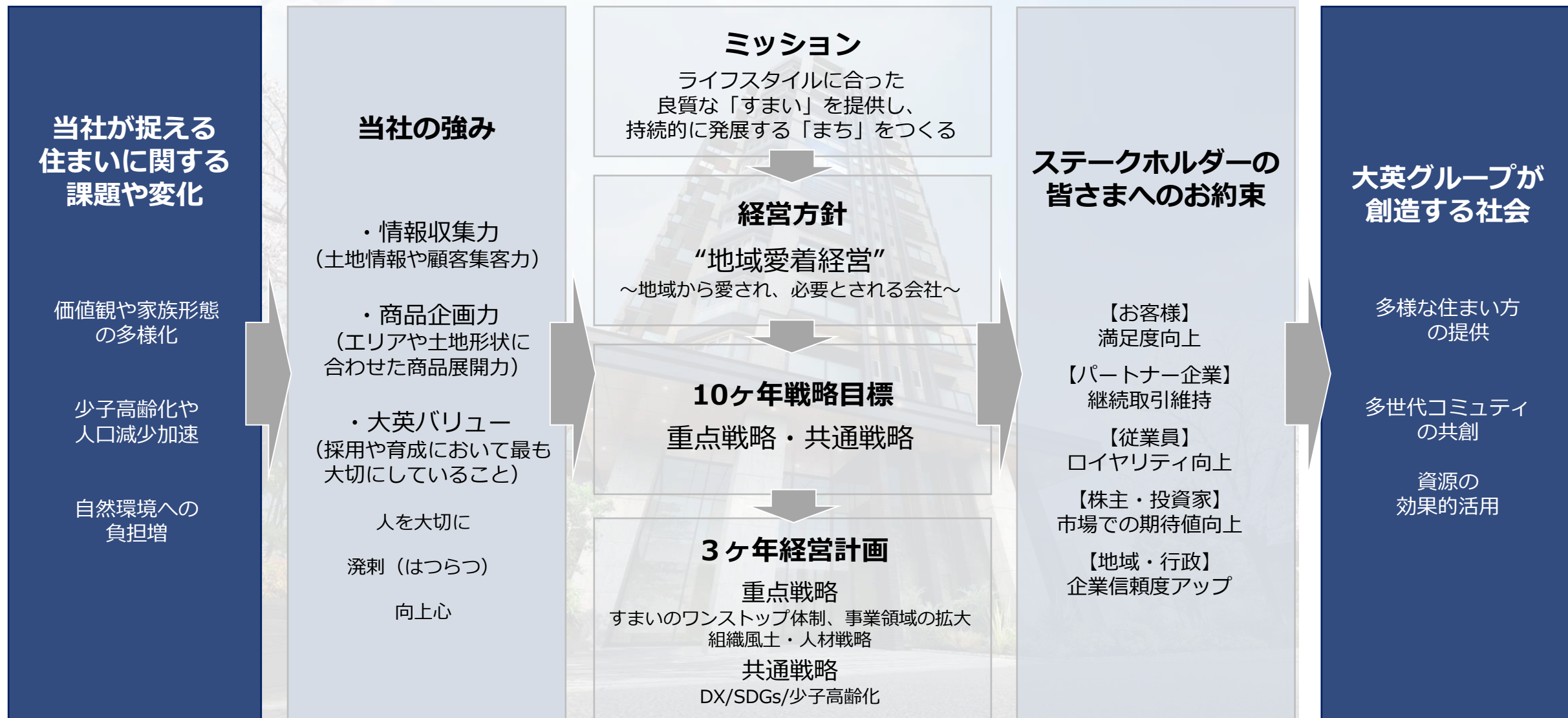
### 街づくり事業

当社に集まる土地情報の中から、  
分譲マンションや分譲住宅では  
合わない条件の土地を活用し、  
投資家向け商品やタウンハウス等、  
新たな商品開発を行う。  
また、広大な土地や再開発、区画  
整理事業等の土地においても、  
行政や民間の企業様を巻き込み  
ながら街づくりを行う。



投資用戸建賃貸 サンラプロ永犬丸西

経営理念 「元気な街、心豊かな暮らし」



# 2. 56期（2024年9月期） 第3四半期 決算報告

# ① 連結損益計算書（2024年9月期第3四半期）

（単位：千円）

|                            | 54期（2022年9月期）<br>第3四半期累計実績 |        | 55期（2023年9月期）<br>第3四半期累計実績 |        | 56期（2024年9月期）<br>第3四半期累計実績 |        | 前年比   |
|----------------------------|----------------------------|--------|----------------------------|--------|----------------------------|--------|-------|
|                            | 金額                         | 構成比    | 金額                         | 構成比    | 金額                         | 構成比    |       |
| 売上高                        | 18,570,552                 | 100.0% | 23,451,870                 | 100.0% | 21,090,315                 | 100.0% | 89.9% |
| 売上総利益                      | 3,132,361                  | 16.9%  | 4,472,977                  | 19.1%  | 3,269,481                  | 15.5%  | 73.1% |
| 営業利益                       | △485,641                   | -      | 343,584                    | 1.5%   | △741,836                   | -      | -     |
| 経常利益<br>または経常損失            | △627,180                   | -      | 158,009                    | 0.7%   | △950,378                   | -      | -     |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益または純損失 | △417,441                   | -      | 89,145                     | 0.4%   | △684,375                   | -      | -     |

●分譲住宅の売上は概ね横ばい、中古住宅買取再販事業の売上は増加  
分譲マンションは第4四半期に建物竣工が偏ることにより大幅に下振れ

●分譲住宅や土地分譲、中古物件の買取再販事業における完成在庫販売強化に伴う利益率の大幅な低下



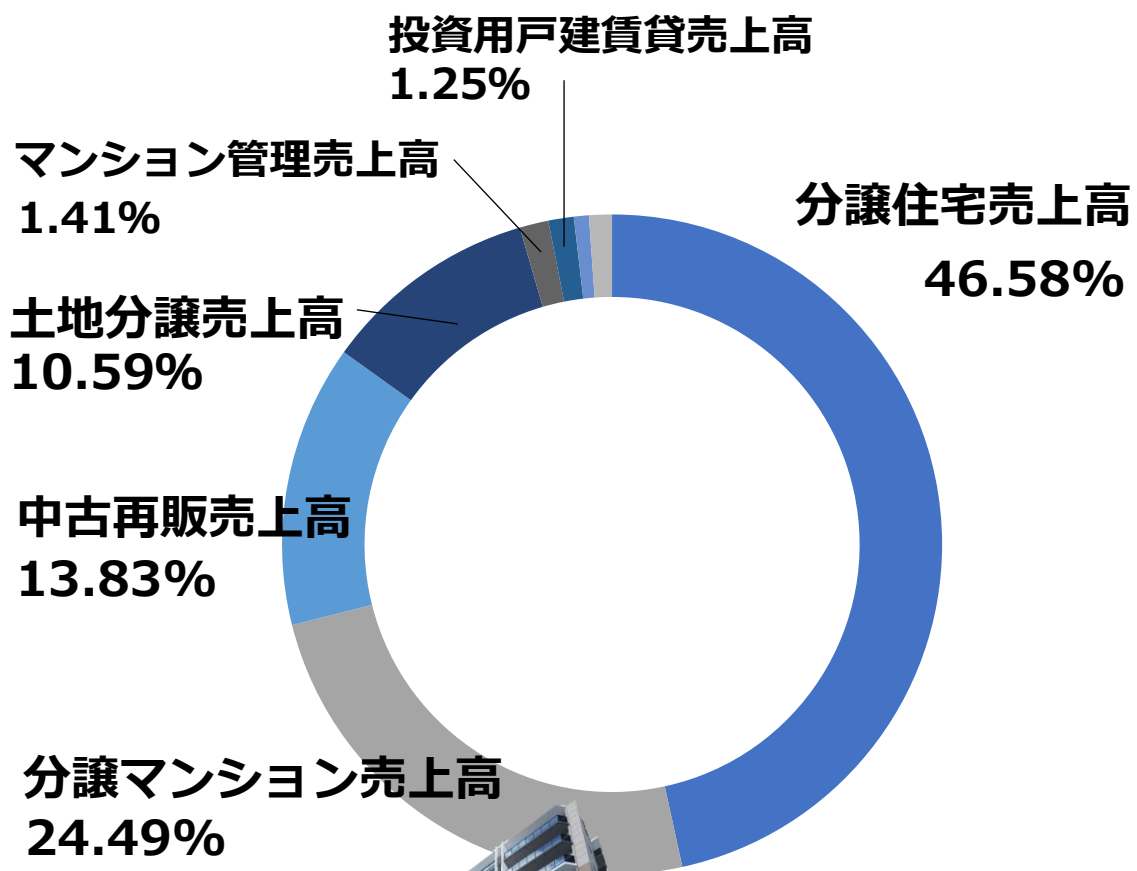
## ② セグメント・事業別連結売上高推移

(単位：千円)

| セグメント | 売上高                 | 54期 第3四半期実績<br>(2021.10~2022.6) | 55期 第3四半期実績<br>(2022.10~2023.6) | 56期 第3四半期実績<br>(2023.10~2024.6) | 前年同期比<br>増減 | 前年同期比  |
|-------|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------|--------|
| マンション | 分譲マンション             | 6,754,218                       | 9,091,344                       | 5,191,975                       | △3,899,369  | 57.1%  |
|       | 管理業<br>(大英リビングサポート) | 251,602                         | 286,801                         | 305,577                         | 18,776      | 106.6% |
|       | その他                 | 0                               | 5                               | 52                              | 47          | -      |
|       | 計                   | 7,005,821                       | 9,378,150                       | 5,497,605                       | △3,880,544  | 58.6%  |
| 住宅事業  | 戸建事業                | 8,890,169                       | 11,450,337                      | 11,533,412                      | 83,074      | 100.7% |
|       | すまいサポート事業           | -                               | -                               | 284,304                         | 284,304     | -      |
|       | 不動産流通事業             | 2,129,736                       | 2,223,399                       | 3,140,987                       | 917,588     | 141.3% |
|       | 街づくり事業              | 490,097                         | 313,885                         | 543,053                         | 229,168     | 173.0% |
|       | その他                 | 7,337                           | 32,853                          | 30,970                          | △1,882      | 94.3%  |
|       | 計                   | 11,517,340                      | 14,020,476                      | 15,532,728                      | 1,512,252   | 110.8% |
| その他   | 温泉管理・賃貸管理           | 47,391                          | 53,243                          | 59,981                          | 6,737       | 112.7% |
|       | 合計                  | 18,570,552                      | 23,451,870                      | 21,090,315                      | △2,361,554  | 89.9%  |

※ 各売上計上物件には、手数料等の付帯利益が計上。56期よりすまいサポート事業にリフォーム・分譲住宅のオプション工事を計上  
金額：1,000円以下はすべて切り捨て %：小数点第2位四捨五入

### ③ 商品別における売上ポートフォリオ



- 第3四半期までにおいては、分譲住宅が46.58%と約5割を占める
- 通期の見通しとしては分譲マンションの竣工、売上の計上により約50%程度が分譲マンションになる見通し
- 中長期的な課題としては、新規事業や管理業等、第3の安定した事業の柱を確立させること

| 商材別 売上高<br>2024年9月期 第3四半期累計実績 (2023.10~2024.6) |           |          |         |
|--|-----------|----------|---------|
| 単位：千円  |           |          |         |
| 分譲住宅   | 9,824,484 | マンション管理  | 297,946 |
| 分譲マンション  | 5,165,337 | 投資用戸建賃貸  | 262,593 |
| 中古再販   | 2,916,186 | リフォーム    | 154,815 |
| 土地分譲   | 2,232,639 | 手数料収入その他 | 236,313 |

※金額：1,000円以下はすべて切り捨て %：小数点第3位四捨五入 10

## ④ 2024年9月期連結業績における見通し

|                     | 55期 (2023年9月期)<br>通期実績 | 56期 (2024年9月期)<br>中間期予想 (開示) | 56期 (2024年9月期)<br>中間期実績 | 56期 (2023年9月期)<br>通期予想 (開示) | 通期予想<br>前年同期比 |
|---------------------|------------------------|------------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------|
| 売上高                 | 35,759百万円              | 14,323百万円                    | 15,315百万円               | 38,555百万円                   | 107.8%        |
| 営業利益                | 1,021百万円               | △449百万円                      | △373百万円                 | 1,123百万円                    | 110.0%        |
| 経常利益                | 808百万円                 | △610百万円                      | △514百万円                 | 812百万円                      | 100.5%        |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 528百万円                 | △629百万円                      | △371百万円                 | 531百万円                      | 100.7%        |

㊦ 現段階におきましては、2023年11月13日に開示しております、「2024年9月期の連結業績予想」に修正はございません。

※100万円以下はすべて切り捨て

# ⑤ 貸借対照表 (前連結会計年度末日と第3四半期末日の比較)

|             | 2023年9月30日      | 2024年6月30日      | 前年期末<br>対比     | 差異要因   |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|--|
| <b>資産の部</b> | <b>39,829百万</b> | <b>42,870百万</b> | <b>3,041百万</b> |  |
| 流動資産        | 37,628百万        | 40,359百万        | 2,730百万        | 現預金6.6億減少<br>販売用不動産26億減少 > 完成在庫の減少が顕著<br>仕掛販売用不動産62億増加 > 分譲マンションのPJ融資の増加   |
| 固定資産        | 2,200百万         | 2,511百万         | 311百万          | 長期繰延税金資産3億増加   |
| <b>負債の部</b> | <b>31,919百万</b> | <b>35,720百万</b> | <b>3,800百万</b> |  |
| 流動負債        | 23,892百万        | 27,480百万        | 3,588百万        | 短期借入金22億増加 (第4四半期に完成する分譲マンションの借入金)<br>マンションの竣工が第4Qに偏っていることによる購入者前受け金2.8億増加 |
| 固定負債        | 8,027百万         | 8,239百万         | 211百万          | 長期借入金2億増加 > 分譲マンションの土地仕入による借入金増加   |
| 純資産合計       | 7,909百万         | 7,150百万         | △758百万         | 第3四半期まで当期純利益がマイナスであるため減少   |
| 負債純資産合計     | 39,829百万        | 42,870百万        | 3,041百万        |  |

※ 100万円以下はすべて切り捨て 対比 (%) は小数点第3位を四捨五入

# 3. 第3四半期 事業別業績報告

## ●新規分譲開始 8 棟

第 2 四半期までの分譲開始物件 6 棟に加え、新たに福岡県太宰府市、福岡県北九州市にて 2 棟の新規分譲を開始。  
太宰府市のマンションはZEH-M（ゼッチマンション）とし、環境に配慮した分譲マンションとして販売。北九州市のマンションは1LDK～2LDKを中心としたコンパクトマンション。

## ●分譲マンション 3 棟が竣工

当第 3 四半期累計期間にて、3 棟が竣工。

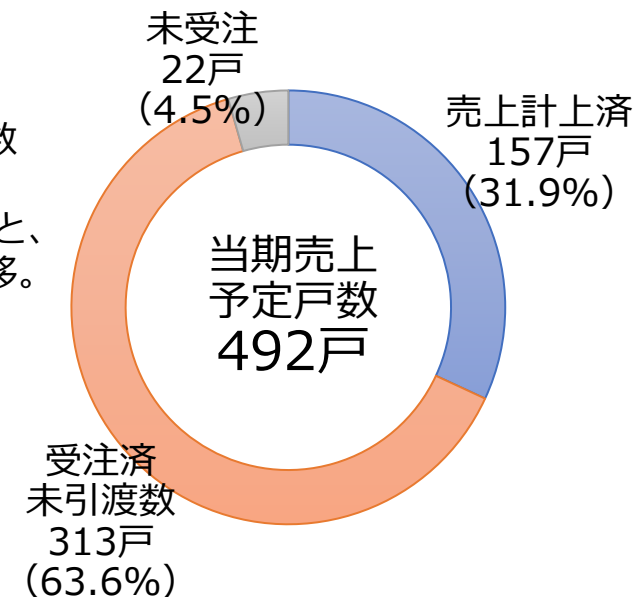
福岡県福岡市「サンパーク南福岡グラッセ」完売  
大分県別府市「サンパーク別府駅前レジデンス」完売  
福岡県北九州市「サンパーク守恒駅前レジデンス」完売



## ●当期売上予定のうち95.5%の受注が完了

当期の分譲マンション売上予定戸数 492戸のうち、売上計上済物件と受注済み未引渡し物件にて95.5%と、当期の売上計画に対し、順調に推移。

当期引渡し物件の販売22戸及び、次期（2025年9月期）以降に計上する予定物件の販売に注力する。



## ●業績

- ✓ 第 3 四半期までに竣工した3物件はすべて完売し、全戸の引渡しが完了。
- ✓ 前会計年度に完成した物件においても、大幅な値引等を行わず販売ができたため、利益率が向上。
- ✓ 次期以降の竣工物件に関して、一部契約の遅れが発生

※2023年9月期は土地分譲売上高・利益を含む。

(単位：千円 千円以下切捨て)

| マンション事業           | 2023年9月期<br>第 3 四半期累計実績<br>(2022年10月～2023年6月) | 2024年9月期<br>第 3 四半期累計実績<br>(2023年10月～2024年6月) | 前年対比  |
|-------------------|---|---|-------|
| 分譲マンション<br>売上計上戸数 | 260戸  | 157戸  |       |
| 売上高               | 9,091,344                                     | 5,191,975                                     | 57.1% |
| 営業利益              | 609,279                                       | △104,140                                      | -     |

※各事業別営業利益は、本部等非生産部門の経費を含まず事業のみの営業利益額となっております

## ● 完成在庫の圧縮とともに事業回転率の圧縮を図る

当期は完成在庫を減少させることを最重要取組みとしており、特に分譲住宅及び土地分譲の販売において、値引等を行ったため、利益率が大幅に低下。

### ※ 完成在庫を減少させる理由

在庫が減少することで、未完成の住宅の販売を強化

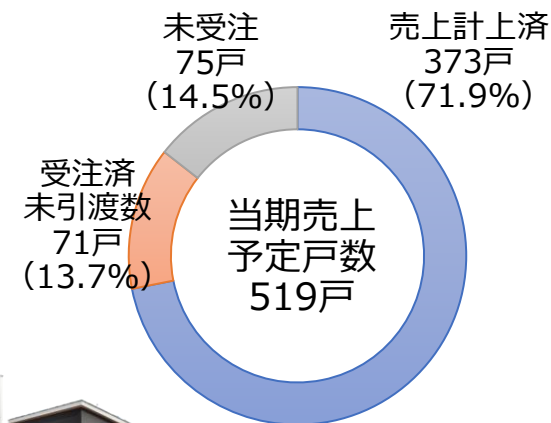


- 完成後の長期経過した物件が減少し、値引等の抑制が図れる
- 完成前のオプション工事等に対応しやすくなる
- お客様の声をタイムリーに商品開発に活かすことができる
- BSが圧縮され、当社が強化する新規事業に投資しやすくなる

## ● 受注数（販売契約）は概ね予定通り しかし、利益率の低下により上乗せが必要な状態

当期戸建事業の分譲住宅の引渡し予定戸数は519戸。第3四半期累計期間において、売上計上済、受注（契約）済み合わせ84.6%が完了。

販売件数は概ね予定通りにするも、利益率の低下により利益額が減少。上乗せした販売が必要であるが、一部遅れが発生。



（単位：千円 千円以下切捨て）

## ● 業績

- ✓ 分譲住宅においては、完成在庫を中心とした物件の売上を計上。完成在庫の販売が進捗してきたことにより、利益率が向上しつつある。
- ✓ 土地分譲の在庫販売が苦戦していることにより、利益率が低下。

| 戸建事業                                 | 2023年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2022年10月～2023年6月) | 2024年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2023年10月～2024年6月) | 前年対比   |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 売上計上戸数<br><small>(戸数は分譲住宅のみ)</small> | 359戸  | 368戸  |        |
| 売上高                                  | 11,450,337                                  | 11,533,412                                  | 100.7% |
| 営業利益                                 | 709,953                                     | 392,150                                     | 55.2%  |



## 不動産流通事業（住宅事業セグメント）

中古市場においては、新築価格の上昇に伴い、中古物件の価格が高騰。

強気で販売したい売却側の希望価格と、購入側の希望価格とのギャップが非常に大きく、全国的にも売り手市場となっている。

### ●業績

- ✓ 価格を抑制して購入したい顧客数は増加傾向にあり、販売件数においては堅調に推移している。
- ✓ 当社の販売価格と購入希望価格との差、またリフォーム工事等の原価の高騰により粗利率が大幅に低下。

(単位：千円 千円以下切捨て)

| 不動産流通事業 | 2023年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2022年10月～2023年6月) | 2024年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2023年10月～2024年6月) | 前年対比   |
|---------|---|---|--------|
| 売上計上戸数  | 121戸<br>(中古戸建・マンション、土地分譲)                   | 180戸<br>(中古戸建・マンション、土地分譲)                   |        |
| 売上高     | 2,223,399                                   | 3,140,987                                   | 141.3% |
| 営業利益    | 44,247                                      | 27,740                                      | 62.7%  |

## 街づくり事業（住宅事業セグメント）

街づくり事業では、投資用戸建賃貸住宅の販売や大型の土地分譲売上を計上。

投資用戸建賃貸においては、3月や9月の賃貸入居に合わせた購入希望の投資家が多く、当期においては9月に18棟の竣工予定となっている。投資ニーズは未だ高い状況にあり、販売は順調に推移。

### ●業績

- ✓ 熊本県にて大型の土地分譲を行ったことにより、売上が前年比173%
- ✓ 投資用戸建賃貸においては遅れが出ているものの、9月に完成を18棟控えており、概ね当初計画通りに売上を計上する予定

(単位：千円 千円以下切捨て)

| 街づくり事業 | 2023年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2022年10月～2023年6月) | 2024年9月期<br>第3四半期累計実績<br>(2023年10月～2024年6月) | 前年対比   |
|--------|---|---|--------|
| 売上高    | 313,885                                     | 543,053                                     | 173.0% |
| 営業利益   | △43,480                                     | △11,007                                     | -      |



# 4. 中期経営計画の進捗と 今後の取組み

経営  
方針

## 「地域愛着経営」

－ 地域の皆様より愛され、必要とされる会社になる －

重点  
戦略



### 住まいのワンストップ体制の構築

事業部別組織からエリア別組織への移行を目指し、重点エリアにて住まいの商品及びサービスのワンストップ体制を図る。よりエリアに根差し、継続的なお客様との接点を持つこと、また相乗効果による集客や販売コストの削減を目指す。



### 事業領域の拡大

－ 新規事業・新サービスの事業化 －

エリア別組織へと移行することで、その重点エリアにおけるお客様との接点を作るため、新規事業・新サービスの開発を行う。中期的には街づくり、お客様生涯、暮らし領域にて事業・サービスの拡大を目指す。



### 組織風土・人材戦略

住まい事業中心から、事業領域を広げて行くにあたり、これまでの既存事業と新規事業の両方の組織風土の醸成、人材の育成が必要となる。中期的にはワンストップ体制を図るため、チャレンジ機会を増やし、個の領域拡大を目指す。

共通  
戦略



DXの推進



SDGsへの取り組み



少子高齢化への対応



## 住まいのワンストップ体制の構築

- ワンストップ店舗 1店舗となる、「ONE STOPイオンタウン黒崎店」がオープン

既存の住まい事業のみならず、リフォームや家計診断、保険の見直しや相続相談、不動産の買取相談等のサービス窓口を一本化

- 熊本事業の拡充  
法人向けの事業用不動産  
取り扱い強化



### 【今後の取組み】

- ワンストップ体制に向けた組織体制の変更
- 2025年9月期に向け、北九州小倉、熊本のONE STOP店舗オープンに向けた準備



## 事業領域の拡大

－新規事業・新サービスの事業化－

- Prefeed Robotics社との共同事業協定書締結  
お客様の暮らしを最先端技術でサポートすることを目的に、既存のライフスタイルの課題を解決する
- 防府八王子プロジェクトの推進  
あきない、なりわい賃貸街区着工
- 宿泊施設事業の推進  
Casa Kokura 2,3プロジェクト着手  
賃貸借契約完了

### 【今後の取組み】

- 宿泊施設事業の拡大  
7月に福岡市博多区の物件を取得済み
- 防府八王子プロジェクト  
その他街区の着工、まちびらき予定等



## 組織風土・人材戦略

- ワンストップ体制に向け、工事部門をエリア制に変更
- 公募型の部門異動  
チャレンジ機会の継続

### 【今後の取組み】

- 部門を超えた個人領域の拡大のための人事異動の強化
- ジョブ型雇用に向けたトライアル実施

## DXの推進

- メタバースの活用  
時間貸しによる新たな収益確保



- 生成AIによる業務改革の推進
- 宿泊事業にて、入退室及び決済のDXによる無人化

## SDGsへの取組み

- 分譲マンション、分譲住宅の主力商品における、環境配慮型商品を開発。建築・販売を開始。
- 地域材木材を活用した住宅が完成。今後地域材木材活用を強化。
- 住宅建築における端材の利活用
  - 地域イベントや幼稚園にて、「出張こども大工」を実施
  - 北九州マラソンや企業様の表彰用としてサステナトロフィーの制作

## 少子高齢化への取組み

- 相続・遺言無料相談会、相続対策セミナーを開催
- 第2回かぞくのかたちファッションショーを開催



- 子供育成支援企業として福岡テレビ局主催はじめて箱イベント参加
- 健康経営の更新

## 10ヶ年財務目標

- POINT
- 10ヶ年にて「住まい事業」以外の新規事業による売上比率を向上
  - ストック事業比率を増加させ、利益の成長と安定を図る

| 10ヶ年戦略（55～64期）<br>財務目標 | 55期<br>（2023年9月期） |       | 57期<br>（2025年9月期） | 64期<br>（2032年9月期） |
|------------------------|-------------------|-------|-------------------|-------------------|
|                        | 計画                | 実績    | 計画                | 計画                |
| 売上高                    | 360億              | 357億  | 400億              | 700億              |
| 営業利益額                  | 13億               | 10.2億 | 16億               | 50億               |
| 営業利益率                  | 3.6%              | 2.9%  | 4.0%              | 7.1%              |
| ROA                    | 2.7%              | 2.0%  | 5.0%              | -                 |

※当社はROAの計算式において、「（経常利益/総資産）×100」として算出しております。

- ・ 10ヶ年財務目標における、初年度の営業利益額目標に対し約2.8億円下回った。  
57期においては、分譲マンションの土地仕入れが概ね完了しているため、これらの物件における販売を促進させること、また、戸建住宅及び中古物件の販売においては財務体質を改善させる一年とし、在庫の圧縮を図り、57期の利益率改善を目指す。

# **5. 第3四半期TOPICS**

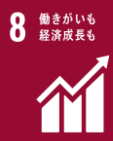
## **(2023年10月～ 2024年6月)**



## TOPICS 1

## 「ONE STOP イオンタウン黒崎店」オープン

当社10ヶ年戦略における重点エリア戦略による「ワンストップ体制の構築」  
当社が扱う商品すべての提案を可能にし、  
住まいや暮らしのファーストコールカンパニーとして、地域に必要とされる会社を目指す。



### 〈提供できる商品・サービス〉

- 分譲マンション
- 分譲住宅
- 中古住宅
- 土地
- 投資用住宅の販売  
(賃貸経営)
- リフォーム・メンテナンス
- 相続の相談
- ご自宅の売却案件

等々…



## 地域イベント「daieiまるまるしえ」を開催



当第3四半期においては、中期経営計画の重点エリアである、「福岡県北九州市」と「福岡県久留米市」にて開催。  
当社経営方針である「地域愛着経営」実現に向け、イベントを定期的に行うことで、地域との交流の場を増やし、各重点エリアでの認知率向上を図る。



北九州市開催「daieiまるまるしえ」



久留米市開催「daieiまるまるしえ」





## 宿泊施設事業開始

2024年3月19日に「旅館業営業許可の取得と宿泊施設事業開始についてのお知らせ」を開示。  
当社が戸建事業にて活用していたモデルハウスを宿泊施設事業に活用する旨を発表。  
また、7月11日には、福岡県福岡市の宿泊施設の不動産を1棟購入しており、  
今後ストック事業のひとつとして強化していく予定。



モデルハウスとして活用していた住宅を活用  
稼働率状況等

| 稼働率    | 平均宿泊人数 | 外国人割合  |
|--------|--------|--------|
| 53.01% | 5.36人  | 71.91% |

- 事業開始時の稼働率目標39%を大きく超えて53%の稼働。
- 開始当初は日本人が6割以上を占めていたが、外国人割合が増加。
- 大人数で泊まれる宿泊施設の需要がある

## TOPICS 4

## 地域貢献活動



経営方針である「地域愛着経営」の基、元気な街をつくっていくため、地域の皆様との関りは必須と考える。

### ● 「じゃぱんみらいキッズプロジェクト」

「じゃぱんみらいキッズプロジェクト」の一環で「出張こども大工」を開催。幼稚園や保育園での実施から始まり、今では地域イベントでの開催が定着。プロジェクトを通じて持続可能な社会の実現を目指す。



### ● 大分県日田市 山林での植林に参加

当社分譲住宅に使用される木材の一部を切り出した山に、新たなヒノキの苗を植樹。



### ● 地域清掃活動に参加

地域の清掃活動へ積極的に参加。



# 6. 株式の状況及び 株主様への利益還元について

# ① 株式の状況

取 引 所  
証 券 コ ー ド  
発 行 株 式 数  
株 価  
  
単 元 株 数  
P E R (株 価 収 益 率)  
P B R (株 価 純 資 産 倍 率)  
1 株 当 た り 配 当 金  
配 当 利 回 り

福岡証券取引所本則 (令和元年6月4日上場)

福証本則 : 2974

3,297,000株

951円

(2024年8月5日終値)

100株

5.93倍 ※ (1)

0.40倍 ※ (2)

23.0円

2.4 % ※ (3)

- ※ (1) PERは2023年9月期決算数値における、1株当たり当期純利益160.5円に基づき上記株価で計算
- ※ (2) PBRは2023年9月期決算数値における、1株当たり純資産額2,398.93円に基づき上記株価で計算
- ※ (3) 配当利回りは、2024年9月期配当予定23円、8月5日の株価にて算出

## ② 株主様への利益還元について

● 配当予想及び株主優待につきましては変更ございません。

### ■ 配当金

|                 |  |
|-----------------|--|
| 2024年9月期配当金（予想） | 1株当たり 23円（予想）<br>（中間配当（3月末日）11円、期末配当（9月末日）12円（予想）） |
| 2023年9月期配当金     | 1株当たり 23円<br>（中間配当（3月末日）11円、期末配当（9月末日）12円）         |
| 2022年9月期配当金     | 1株当たり 20円  |

### ■ 株主優待

|                  |                         |                     |
|------------------|-------------------------|---------------------|
| 2024年9月期株主優待（予想） | 100株～400株 1,000円分クオ・カード | 500株～ 2,000円分クオ・カード |
| 2023年9月期株主優待     | 100株～400株 1,000円分クオ・カード | 500株～ 2,000円分クオ・カード |
| 2022年9月期株主優待     | 100株～400株 1,000円分クオ・カード | 500株～ 2,000円分クオ・カード |

### 株主様への利益還元の長期目標

#### ① 株主還元

当社は持続的な成長とともに、配当性向30%程度を利益還元目標とし、安定的かつ継続的な株主様への還元を行ってまいります。

#### ② 資本効率の向上

当社は事業の特性から、事業回転率と利益率の向上が必要と考え、総資産利益率(ROA)5%を目標とし、収益性を高めてまいります。

#### ③ 成長戦略における資本投資

当社は10ヶ年戦略に伴い、利益還元目標とバランスの取れた事業投資を行ってまいります。



### 本資料について

本資料は、当社が現在入手している情報等に基づいており、  
実現をお約束する趣旨のものではありません。  
実際の業績等は経営環境の変化等により異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

## 大英産業株式会社

経営管理部

TEL : 093-613-5659

<https://www.daieisangyo.co.jp/ir/form>